

ふつうかえり エッセイスト 佐野洋子展

企画展



私の仕事は
うそ話を作る
ことである。
*『私の猫たち許してほしい』

夫婦に科学は
不必要である。
世の中に科学が入り込む
隙のないものが
まだある事は実に頼もしい。
*『問題があります』

ラブレターを書く男は
一人居ればいいのである。
*『ふつうがえり』



死ぬとわかるのは、
自由の獲得
と同じだと思う。
*『役にたたない日々』

私は年老いることを
ずっと確認しながら生きて来た。
姿形だけでなく、
中身も年月と共に
ズタ袋にゴミを入れた様に
ふくらんで来ていた。
*『神も仏もありません』

私は気が強くて、
才能があつて不美人で
自己主張が強すぎる人を
偉いと思う。
*『がんばりません』



2022年 7/16(土) ~ 9/19(月・祝)

- 主催= いわき市立草野心平記念文学館
- 監修・協力= オフィス・ジロチャー
- 企画協力= 仙台文学館
- 後援= いわき民報社、FMいわき、
福島民報社、福島民友新聞社

いわき市立草野心平記念文学館
Kusano Shimpei Memorial Literature Centre, Iwaki City

〒979-3122 福島県いわき市小川町高萩字下夕道1番地の39
TEL (0246) 83-0005 | FAX (0246) 83-2939
URL: <http://www.k-shimpei.jp> E-mail: info@k-shimpei.jp

交通のご案内

- JR常磐線利用/いわき駅下車後、車で約20分
- JR磐越東線利用/小川郷駅下車後、車で約5分
- 常磐自動車道利用/いわき中央I.Cから約20分

装画=『神も仏もありません』挿し絵 ©JIROCHO, Inc.
佐野洋子写真=百瀬恒彦撮影 / デザイン=天野 誠 (MAGIC BEANS)

トークイベント 7/31(日) 14時~15時30分

「佐野洋子にとっておきばなし」

- 出演: 刈谷政則氏 (編集者)
広瀬弦氏 (イラストレーター・佐野洋子長男)
- 定員50名 ●聴講無料 ●要申し込み

●お申し込み方法
郵便往復はがきの往信面に「①7/31希望、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤聴講希望者氏名(2名まで)」を、返信宛面に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記の上、「〒979-3122 いわき市小川町高萩字下夕道1番地の39 いわき市立草野心平記念文学館 佐野洋子展 7/31係」まで。

●お申し込み受付期間
6/29(水) ~ 7/19(火) 当日消印有効

定員を超えた場合は抽選となります。「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、定員が変更となる場合があります。

ギャラリートーク 8/6(土) 9/3(土) 14時~14時30分

- 学芸員の展示解説です。
- 文学館企画展示室 ●要観覧券 ●申し込み不要

利用のご案内

- *開館時間=9時~17時 (入館は16時30分まで)
※7、8月の土曜日は9時~20時 (入館は19時30分まで)
- *休館日=月曜日・7月19日・9月20日
(7月18日、9月19日は開館)
- *観覧料=(常設展示室観覧料も含む)
●一般440円(350円)
●高・専修・高専・大生330円(260円)
●小・中生160円(130円)
※()内は20名以上の団体割引料金
- いわき市内に住所を有する65歳以上の方、障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料です。
- 市内の小・中・高・専修・高専生は、土曜日・日曜日、無料です。
- 受付で確認できるものの提示をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催内容等が変更となる場合があります。ご来館前に、文学館公式サイト等で最新情報をご確認ください。



佐野洋子は、絵本作家として活躍するかたわら、エッセイ、童話、戯曲など、数々の文章を残しました。著書の1冊に『ふつうがえらい』と題名をつけた佐野は、自身の経験や日々の生活を率直に綴り、読者に共感と力を与えてきました。本展では、自筆原稿やつか束見本、挿し絵原画、代表作である絵本『100万回生きたねこ』のデジタルリマスター版原画、佐野の愛用品等を展示し、すぐれたエッセイストでもあった佐野のこぼれ話を軸に、人物像やエピソード、絵の仕事などから、その魅力を紹介します。



『女の一生 I』挿し絵



絵本『100万回生きたねこ』
初版1977年 講談社

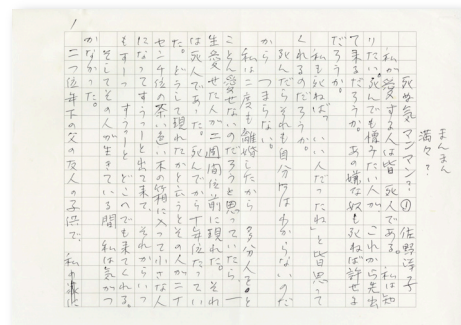
佐野洋子 [さのようこ]

1938年、中国・北京で生まれる。武蔵野美術大学デザイン科卒業後、百貨店の宣伝部勤務を経て絵本作家に。1977年に出版した『100万回生きたねこ』は、現在でも世代を超えて読み継がれるロングセラー絵本。一方、雑誌や新聞にエッセイを連載するなど、文章にも才能を発揮した。主なエッセイ集に痛快な筆致で日常の出来事を記した『ふつうがえらい』『がんばりません』、自身の老いをユーモラスに綴った『神も仏もありませぬ』『役にたたない日々』、母親との確執をテーマにして話題となった『シズコさん』ほか。2010年、72歳で逝去。

©JIROCHO, Inc.



束見本を利用した絵本の草稿『だっぺだっぺのおばあさん』



自筆原稿『死ぬ気まんまん』

会期中の催しのご案内

※新型コロナウイルス感染拡大による予定変更等については、文学館公式サイトをご確認ください。

スポット展示 「草野心平の料理」 7月2日(土)～9月25日(日) ●文学館常設展示室内／要観覧券●詩人・草野心平の独創的な料理に関するエピソードを紹介します。

カエルのクラフトワークショップ 7月23日(土)14時～15時 ●心平生家(会場が変更となる場合があります)／定員5組10名(先着順)／要申し込み／無料 ●詳細は催しのチラシをご覧ください。

サマーナイトの催し ●文学館アトリウムロビー／いずれも定員50名(先着順)／要申し込み／鑑賞無料 ●詳細は、各催しのチラシをご覧ください。

朗読会「『100万回生きたねこ』 佐野洋子・みごとに生きざま」 7月23日(土) 17時～18時30分 ●出演＝朗読サロン ミモザ／ピアノ＝伊藤直子氏

コンサート「デュオ ジャズ ナイト」 7月30日(土) 18時～19時 ●出演＝Duo三昧

コンサート「バロックと日本の子守唄 ～バッハとヘンデル～」 8月6日(土) 18時～19時 ●出演＝藤原潤子氏、松崎康弘氏

アトリウムコンサート 8月7日(日) 11時～11時40分、13時30分～14時10分

●文学館アトリウムロビー／出演＝いわき市立小川中学校吹奏楽部／定員各回50名(先着順)／要申し込み。7月26日(火)より電話受付／鑑賞無料

子どもじゃんがら 8月14日(日) 11時～11時20分 ●心平生家／実演＝小玉郷土芸能クラブ／鑑賞無料

移動水族館 アクアマリンふくしま 移動水族館車 Aquaravan 8月28日(日) 10時～15時 ●文学館エントランス前／時間入替制。各回20名程度(当日受付)／無料

朗読サロン 8月6日(土)、9月3日(土) いずれも11時～12時 ●文学館小講堂／参加無料
●文学館ボランティアの会事業 ●楽しみながら朗読を学びます。お気軽にご参加ください。

文学館えほんのひろば



アトリウムロビーのえほんのひろばは、どなたでも無料でご利用いただけます。豊かな自然の中で、ぜひお楽しみください。